

「図書館を使った調べる学習」について

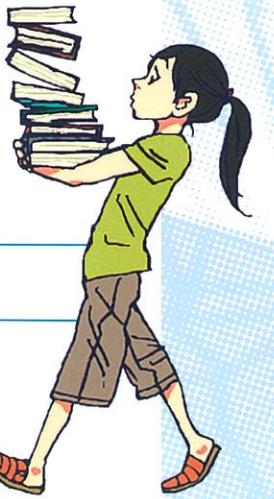
概要

「図書館を使った調べる学習」とは、自ら課題を見つけ、公共図書館や学校図書館を使ってその課題を解決する一連の探究的な学習過程全般を指します。



育まれる資質・能力

調べる学習によって「知的好奇心」「体系的な思考や多面的な思考能力」「主体的な学び」「課題を見つけ、資料情報を探し、まとめ、表現する力」「自己肯定感」「著作権を尊重する姿勢」「将来のキャリアを描くきっかけ」等が養われます。
(国立教育政策研究所との共同研究「図書館と学校が地域をつくる」(2016年 学文社)より)



主体的・対話的で深い学び

「調べる学習」は新しい学習指導要領の柱のひとつ
「主体的・対話的で深い学び」の一形態で、学校教育で積極的に導入されている学び方の一つです。

●優れた推進活動を行った地域コンクールを表彰します。
賞：総務大臣賞、図書館を使った調べる学習活動賞

第25回入賞者紹介

調べる学習部門 小学生の部(低学年)

長沼 奏汰さん
東京都 墨田区立錦糸小学校 1年

文部科学大臣賞



「しりたい! うんこのなぞ」

ぼくのうんこはなぜくさい?からスタートしたうんこ研究。うんこの正体、くささの謎、茶色い理由を次々に明らかにしていきます。家族みんなのうんこも毎日記録し、うんこの種類や状態を観察しながら、家族の健康状態を見つめます。食事の内容や運動を取り入れ、家族のうんこ改善にも努めました。その研究熱は、動物園の動物たちにも広がります。

調べる学習部門 小学生の部(中学年)

滝口 瑛士さん
千葉県 袖ヶ浦市立昭和小学校 4年

「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞



「僕と魚とSDGs ギョギョギョ!」

皆にもっと魚を好きになってもらいたい!とはじめた魚研究。海水魚と淡水魚はどう違うの?海と川を行き来する魚の体のつくりはどうなっているの?外来生物が問題になるのはなぜ?汽水域での水質調査や、池や小川での生き物調査を通して、環境問題にも目を向けています。魚と海、そして地球のためにできることは?自分なりのSDGsを考えました。

調べる学習部門

学校・フリースクール等小学1年生以上ならどなたでも応募できます

募集作品

公共図書館や学校図書館を使って調べ、まとめた作品

- 身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど調べるテーマは自由です
 - 「見る」「聞く」などの体験や実地調査などを取り入れながら、どのように調べていったのか、その結果何がわかったかをまとめてください
- ※調べた情報を作品に引用する場合は、引用のルールに沿ってください。

作品のサイズ・ページ数等

[サイズ]

小学生: **B4サイズまで** (八つ切りサイズも可)

中学生以上: **A4サイズまで**

※模造紙等にまとめる場合は、必ず上記サイズに折りたたんでご応募ください

[ページ数等]

全員: 以下のものを必ず添付してください

- 本文: **1ページ以上50ページ以内**

※表紙、目次、資料集、参考・引用文献一覧は含みません

- 参考・引用文献一覧: 調べたときに利用した資料名と図書館名のリストを必ず巻末に付けてください

※パソコンの出力紙での応募も可(入力時は文字サイズ11ポイント以上、1ページの文字数は1,000文字を目安として読みやすさに配慮してください)

募集対象と賞

[小学生の部] 低学年・中学年・高学年 [中学生の部] 中学生
[高校生の部] 高校生 [大人の部] 大学生・社会人等

- 賞: 各部 入賞/文部科学大臣賞 優秀賞
入選/優良賞 奨励賞 佳作

[子どもと大人の部] 小学1年生以上の子どもと大人のグループ・親子

- 入賞/優秀賞 入選/優良賞 奨励賞 佳作

調べる学習部門

- 入賞/観光庁長官賞^{※1}、「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞^{※2}

※1 日本国内の「観光に資する地域の魅力を再発見した」作品

※2 自然の仕組みの素晴らしさや大切さなどを伝える作品

調べる学習指導・支援部門

調べる学習を指導・支援した個人や団体が応募できます

募集作品

図書館を使った調べる学習の指導・支援の実践をまとめた作品

- 指導・支援の「ねらい、具体的な進め方、結果、成果の考察」などをまとめてください
- 指導・支援の成果物(作品)がある場合は、実例として添付してください

作品のサイズ・ページ数等

[サイズ] **A4サイズまで**

[ページ数等] 「調べる学習部門」と同様です

募集対象と賞

学校や公共図書館に所属する個人、団体

- 入賞/優秀賞 入選/優良賞 奨励賞 佳作

全部門対象

- 応募者全員に参加賞を進呈いたします

- 入賞、優良賞、奨励賞には

副賞として図書カードネットギフトを進呈いたします

作品応募時の注意点など

●このコンクールは図書館振興財団が主催する全国コンクールです。地元の教育委員会や図書館等が地域コンクールを開催している場合は必ずそちらにご応募ください。●地域コンクールおよび他のコンクールとの二重応募はできません。●応募者自身のオリジナルの作品に限ります。●大学等の専門機関における研究成果発表等は募集対象外です。●応募は、日本語で書いた作品に限ります。●コピーでの応募も可能です。●日本人学校、補習授業校、現地校などにご所属の皆さんもご応募いただけます。●「地域コンクール」で入選した作品も入賞・入選候補になります。●入賞作品の著作権は公益財団法人図書館振興財団に帰属します。●応募カードの個人情報は当財団の個人情報保護方針に基づいて厳重に管理いたします。●入賞・入選者の氏名(グループ名)・学校名・学年・作品名・都道府県名・地域コンクール名を公表いたします。

※全国コンクールへの応募作品は全て返却いたしません。
地域コンクールへ応募された作品はこの限りではありません。

第25回入賞者紹介

調べる学習部門 小学生の部(低学年)

長沼 奏汰さん
東京都 墨田区立錦糸小学校 1年

文部科学大臣賞



「しりたい! うんこのなぞ」

ぼくのうんこはなぜくさい?からスタートしたうんこ研究。うんこの正体、くささの謎、茶色い理由を次々に明らかにしていきます。家族みんなのうんこも毎日記録し、うんこの種類や状態を観察しながら、家族の健康状態を見つめます。食事の内容や運動を取り入れ、家族のうんこ改善にも努めました。その研究熱は、動物園の動物たちにも広がります。

調べる学習部門 小学生の部(中学年)

滝口 瑛士さん
千葉県 袖ヶ浦市立昭和小学校 4年

「2030生物多様性枠組実現日本会議」賞



「僕と魚とSDGs ギョギョギョ!」

皆にもっと魚を好きになってもらいたい!とはじめた魚研究。海水魚と淡水魚はどう違うの?海と川を行き来する魚の体のつくりはどうなっているの?外来生物が問題になるのはなぜ?汽水域での水質調査や、池や小川での生き物調査を通して、環境問題にも目を向けています。魚と海、そして地球のためにできることは?自分なりのSDGsを考えました。

調べる学習部門 大人の部

広瀬 美智子さん
東京都

文部科学大臣賞

「市民」と「小民」

—高輪築堤通船口—

再開発で発見された高輪築堤遺構。堤に開けられた通船口に新政府と小さな町の間で繰り広げられた交渉のドラマを追います。嘆願書から見えてきたのは、鉄道建設に急ぐ政府に粘り強く訴え続けた町の努力。用いられた「市民」の言葉に、官僚と共に通言語で対話を重ねる町の知性を見ます。官民の相互理解を今に伝える遺構。未来へ伝えたいと結びます。

広瀬 美智子

広瀬 美智子

調べる学習部門 子どもと大人の部

安武 拓海さん 千葉県 袖ヶ浦市立藏波小学校3年
安武 匡紀さん 父

観光庁長官賞



安武 拓海さん 千葉県 袖ヶ浦市立藏波小学校3年
安武 匡紀さん 父

冒險! 発見! 南総里見八犬伝

~パパと!!息子と!!
2人で歩き、見つけた、南房総~
八犬伝のスタンブラーをきっかけに父と調べ始めた「南総里見八犬伝」。なぜ南房総が舞台?なぜ里見氏の活躍が書かれたのか?調べてみると困難の中で生み出されたこと、反徳川の世論と深く関わっていたことなど人気作品の中に知られざる史実を発見します。ゆかりの地を訪ね歩き、今も台風被害に苦しむ地域に自分たちができることを実践します。